

大山縦走

平成25年3月31日

K多、Y川

30、31日と八ヶ岳縦走を予定していたが、天候のため中止し、大山縦走に変更した。

両側スッパリと切れ落ちたやせ尾根が続き、所々でブッシュが露出しておりアイゼンをひっかけないよう注意が必要だった。らくだの背は雪が全く付いておらず、上は脆くて歩けないため北側基部をトラバース。しかし、地面が凍っており、数メートルの間はアイゼン前爪とピック打ち込みに頼る不安定なトラバース、これに続いて雪壁を少しトラバースし、そのまま上に抜けて稜線へ出た。後ほど、毎年積雪期の大山縦走に来ている方とユートピア避難小屋で話をしたが、「らくだの背は、雪があれば南側の雪庇崩落に注意は必要だが楽しく通過できる。今年は雪が少なく、今までで一番怖い思いをした」、とのことであった。剣ヶ峰手前の200mほどはきれいな雪稜が続き、剣ヶ峰は狭いが立派な方位盤があった。弥山からは約45分。ここから天狗峰までは雪稜が続き、天狗峰からの下りは歩き易くなった。しかし、部分的に崩壊しているのに加え急傾斜であるため、一般向けとは言えないように思った。ユートピア避難小屋はしっかりした小屋で、ここから雪の斜面をトラバースして宝珠尾根に出、それを辿り下宝珠越から大山寺へと下山した。



弥山へ尾根道を登る



剣ヶ峰とらくだの背



剣ヶ峰手前の雪稜



宝珠尾根へのトラバース